

## 会議録

- 1 附属機関の名称  
犬山市文化財保護審議会
- 2 開催日時  
令和2年1月21日（火） 午後1時30分から午後3時まで
- 3 開催場所  
犬山市役所 205会議室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員  
長谷川良夫、赤塚次郎、小嶋毅、林進
  - (2) 執行機関  
滝教育長、中村教育部長、（以下歴史まちづくり課）中村課長、野村課長補佐、  
市野統括主査、渡邊統括主査、加藤主査補、中村主査補、河寄主事
- 5 議題（報告事項）
  - (1) 文化財保存活用地域計画の策定について
  - (2) 犬山市の歴史まちづくり事業の進捗について
  - (3) 犬山祭の保存修理等について
  - (4) 文化財建造物の保存修理について
  - (5) 犬山城について
  - (6) 史跡東之宮古墳整備事業について
  - (7) 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について
  - (8) 石上祭の調査について
  - (9) 文化史料館南館の整備について
  - (10) ロードマップについて
  - (11) 史跡名勝天然記念物の現状変更について
  - (12) 寄贈資料・寄託資料
- 6 傍聴人の数  
0 人

## 7 内容

### ○開会あいさつ（会長）

### ○署名委員指名

- ・会長の指名により会議録への署名を赤塚委員、林委員に決定。

### ○報告事項

- ・(1)～(6)まで事務局より一括報告

### <質疑応答>

#### 報告事項(1)

委員：文化財保存活用地域計画は具体的に何を行うのか。把握調査はどこまで実施するのか。個別の調査は実施するのか。

事務局：これまでの文化財保護行政では、指定文化財を対象とした保存活用計画を策定しているが、今後、策定する文化財保存活用地域計画では「指定」、「未指定」に関わらず、文化財全般対象とする。それぞれの文化財の時代やジャンル別に分類し、ストーリーを作成し、今後どのように保存・活用を行うのかを検討する。把握調査では、どこにどのような文化財があるのかを把握する。個々の調査については、平成24年～25年度に文化遺産悉皆調査を実施している。今後計画を策定する中で、何を調査するのかを検討する。

委員：調査報告書は作成するのか。

事務局：計画書を作成する。

委員：犬山市は、自然や地理的環境、地形などの情報が整理されていない。これまでの調査結果を見直すとよい。

委員：観光地として注目される犬山城や城下町がなぜここにあるのか。どうして城下町が今のような形になったのかをストーリーにまとめ、説明していけば、様々な文化財の活用が可能となる。

委員：歴史の生き証人は自然である。植物学や地形学、地理学などから犬山の成り立ちがわかってくる。様々な知見を組合せることで文化財保存活用地域計画の内容もできてくる。

#### 報告事項(2)

- ・意見なし

#### 報告事項(3)

- ・意見なし

#### 報告事項(4)

- ・意見なし

報告事項 (5)

- ・ 意見なし

報告事項 (6)

- ・ 意見なし

○報告事項

- ・ (7) ～ (12) まで事務局より一括報告

報告事項 (7)

委員：史跡東之宮古墳整備にて植樹するマイヒメはアメニティ協会の事務所やひばりが丘に植えられている。品があり、きれいであるため、植樹する樹種としては良い選択である。

報告事項 (8)

- ・ 意見なし

報告事項 (9)

委員：犬山市文化史料館本館と南館は一緒に管理するのか。

事務局：本館と南館は市が直営で管理・運営する。南館の企画や運営の一部は委託に出せればと考えている。

委員：史料館の事務局はどうなるのか。本館2階の会議室の取扱いはどうなるのか。

事務局：事務局は本館のまま変わらない。本館2階の会議室は、来年度から着手する史料編さん業務の拠点として利用できればと考えている。

委員：福祉会館を取り壊した後に発掘調査を実施することになるが、発掘調査の成果や、今後増える寄贈品などは今後どのように見せていくのか。旧犬山町全体を今後どうするかを保存活用地域計画に落とし込むのか。犬山のまちをどう見せるのか。

事務局：保存活用地域計画が市の文化財の保護方針、歴史的風致維持向上計画はアクションプランであるが、犬山市はアクションプランが先行してしまっている。保存活用地域計画で文化財保護の柱をつくり、今後犬山の文化財をどうするのかを考える必要がある。保存活用地域計画策定の中で、犬山市文化史料館のように核となる施設と他の施設とどのようにネットワークを構築するのか考えていきたい。

委員：中核となるような博物館施設が必要であり、その施設に専門性のある職員をおくとよい。

事務局：人事当局には専門性のある職員の配置の必要性を要望しているが、目に見える成果は出ていない。今後も取り組みつづけていきたい。

報告事項 (10)

- ・ 意見なし

報告事項（11）

委員：ニホンカモシカについては、岐阜県では詳細なデータを集めているが、愛知県では集められていない。今後もデータを集めておくとよい。

報告事項（12）

- ・ 意見なし

○その他

- ・ 次回委員会は後日日程調整を行う。

○閉会あいさつ（教育長）